

## 平成 29 年度がん対策の主な取組

## 全般事項

- 岩手県がん対策推進条例の一部改正
  - ・ がん対策基本法の改正に伴い、条例に項ずれ等が生じていることから、所要の改正を実施。
- 次期岩手県がん対策推進計画の策定
  - ・ 国が策定する第 3 期がん対策推進基本計画の内容等に基づき、次期「岩手県がん対策推進計画」（H30～H35）を今年度中に策定。
- 次期岩手県保健医療計画（がんの医療体制）の策定
  - ・ がんの計画策定と協調しながら、次期「岩手県保健医療計画（がんの医療体制）」（H30～H35）を今年度中に策定。

## 1 がんの予防・がんの早期発見

- がんの予防に向け、県民に対する正しい知識の普及啓発を進めるとともに、たばこ対策においては、市町村や関係機関との連携により各種取組を引き続き実施。
- がんの早期発見に向け、がん検診の受診率向上を図るため、県民に対する普及啓発（受診勧奨）や受診環境の整備など、市町村や関係機関との連携により各種取組を引き続き実施。
- 「岩手県がん検診受診率向上プロジェクト協定」締結企業等と協働し、がん検診受診率の向上に向けた取組を実施

- 健康いわて 21 プランの中間見直し
 

次期の医療計画やがん対策推進計画（H30～H35）の策定作業と協調しながら、当プランの中間見直しを進めていく。
- がんの予防
  - ・ 岩手県がん対策推進条例（平成 26 年 3 月 28 日岩手県条例第 84 号）等に基づき、様々な取組を活用して、広く県民にがんの予防や早期発見について情報発信
  - ・ 「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の取組として、従来からの取組である各種媒体を活用した禁煙の呼びかけや、全県における啓発ポスターの掲示等を実施するとともに、禁煙・分煙の飲食店・喫茶店登録への感謝状の贈呈などの取組も実施
  - ・ 検診機関等と連携し、禁煙希望者に対する面談、禁煙補助剤の配付など、禁煙支援を推進する。
  - ・ 協会けんぽ岩手支部と連携し、たばこ対策などの分野において、次のとおり全県的な普及啓発活動を実施

普及啓発の内容	配布・掲示先（箇所数）
「協会けんぽ岩手支部チラシ」を活用した情報発信	支部の全加入企業（17,000 企業）
禁煙を呼びかける「脳卒中予防ポスター」等の共同掲示 （喫煙の習慣は、脳卒中の主要因であること）	県内の健康保険委員登録事業所（1,800 企業） 県内の医療機関・調剤薬局（2,300 機関） 県内全市町村、県庁・県保健所

- **がんの早期発見（普及啓発、がん検診の受診勧奨など）**
  - ・ 「岩手県がん検診受診率向上プロジェクト協定」締結企業等と協働し、がん検診受診率の向上に向け、受診勧奨リーフレット等を作成し全県に配布予定
  - ・ いわてピンクリボンの会と連携し、10月のピンクリボン運動月間に、乳がん検診受診勧奨ポスターの掲示や、各合同庁舎等におけるピンクリボンツリーの設置など、全県で普及啓発を実施予定
- **がんの早期発見（受診環境の整備）**
  - ・ 市町村・検診機関・企業など、幅広い健康施策の担い手の参集の下、課題検討会を開催予定

#### 【各団体等の取組】

- **〔岩手県対がん協会〕** がん検診の実施、普及啓発等
  - ・ 県内市町村・事業所を対象としたがん検診の実施については、市町村・事業所と情報交換を密にし受診数増加に取り組み、地域で保健活動に取り組む団体に広く呼びかけるほか、ピロリ菌検査について新たな検診体制の構築を目指す。
  - ・ 普及啓発（がん征圧月間（9月）の新聞等でのPR、テレビ・ラジオ・インターネットによる情報発信、他団体イベントへの協賛、市町村等健康イベントでの普及啓発、小中高校生を対象に健康教育を行う出前授業）
  - ・ がん検診の精度管理、保健活動、調査研究、医療技術職の育成・援助を前年度と同様に実施
- **〔岩手県看護協会〕** がんの予防・早期発見
  - ・ がんの予防・早期発見の取組を昨年度同様に継続
- **〔全国健康保険協会岩手県支部〕** がん検診の推進
  - ・ 社会保険関係の新任事務担当者向け研修会にてがん検診推進の小冊子を配布
- **〔いわてピンクリボンの会〕** 乳がんの正しい知識の啓発活動・検診の受診推進
- **〔岩手日報社〕** がん検診の受診
  - ・ 検診等の取組を前年度と同様に継続

## 2 がん医療の充実

- 拠点病院の機能強化を引き続き支援するとともに、がん患者・経験者の就労支援やがん教育などに取り組む病院への支援を強化
- がん医療に係る専門的知識を有する医療従事者育成の取組を引き続き実施

#### ○ **がん診療連携拠点病院機能強化事業への支援**

県内 10 箇所のがん診療連携拠点病院の専門的な医療提供や相談支援の機能強化を図るため、医療従事者等の資質向上や相談支援センター相談員の配置などに対して引き続き支援するとともに、がん患者・経験者の就労支援やがん教育などの新たな取組を行う病院への支援を引き続き実施（県予算額： 110,619 千円）

## ○ 医療従事者の育成

がん医療に係る専門的知識を有する医療従事者の育成に引き続き取り組む。

### 【各団体等の取組】

#### ○ [岩手医科大学] 医療従事者の育成、がん診療体制の強化等

- ・ 大学院医学研究科(緩和ケア医療学等)での医療人育成
- ・ がん化学療法チーム研修会開催、合同がんサージカルボードミーティング開催(2回)
- ・ 岩手県がん診療連携協議会、第10回岩手県がんフォーラムの開催
- ・ キッズがんセミナーや高校生がんセミナー等の開催
- ・ がん早期診断講演会等各種シンポジウムや講演会の開催

#### ○ [県立中央病院] 研修会の開催等

- ・ 前年度と同様に取組を継続、看護専門外来の活動の充実

#### ○ [県立中部病院] 研修会の開催等

- ・ 昨年度と同様に取組を継続

#### ○ [岩手県歯科医師会] がん診療医科歯科連携

歯科医師会とがん拠点病院等の連携による取組を引き続き実施。

- ・ がん診療医科歯科連携協議会、運営委員会の開催
- ・ 全国共通がん医科歯科連携講習会の開催
- ・ 病院から歯科医院への診療紹介状況等の調査実施
- ・ 医科歯科連携モデル事業の実施
- ・ 情報誌「いとしの架け橋」発行

#### ○ [岩手県看護協会] がん医療の充実、がん条例の普及啓発

- ・ がん医療の充実について前年度の取組を継続する

#### ○ [岩手県対がん協会] 医療技術職の育成・援助

- ・ 修学資金貸与による医療技術職の育成、援助

## 3 がんと診断された時からの緩和ケアの推進

■ 拠点病院等が実施する緩和ケア研修会の開催支援、同研修会に係る指導者・ファシリテーター向け研修を引き続き実施

■ 一般県民や地域の保健医療従事者を対象とする在宅緩和ケア講習会を引き続き実施

## ○ 緩和ケアに従事する医療従事者の育成

専門的な緩和ケアを担う医療従事者を確保するため、拠点病院等が実施する研修会の開催への支援を行うとともに、同研修会の企画運営に当たる指導者やファシリテーターの養成に向け、全国研修への医師派遣や研修会の開催を引き続き実施。

## ○ 医療者と患者会による緩和ケアに関する合同検討会議の開催

医師に対する緩和ケア研修会に患者の視点を取り入れるための、医療者と患者会による合同検討会議の開催の実施

## ○ 緩和ケア講習会の開催

緩和ケアに係る理解の促進と地域の医療連携体制の構築に資するため、一般県民や地域の保健医療福祉従事者等を対象とした在宅緩和ケアの講習会を、引き続き実施。実施地区数は県内3箇所を予定。

### 【各団体等の取組】

## ○ [県立中央病院] 研修会の開催

- ・ 前年度と同様に取組を継続

## ○ [県立中部病院] 研修会の開始

- ・ 前年度と同様に取組を継続

## 4 相談支援・情報提供の充実

- 患者・家族向けサポートブックの増刷・配布やホームページの充実などにより、患者・家族の療養生活の質の向上に資する情報の発信を強化
- 県施策・事業への患者・家族の的確な意見反映に向け、がん患者・家族会連絡会を開催
- 県民への普及啓発や学校におけるがん教育を多面的に展開

## ○ 情報発信の強化

がんに関する情報の適切な提供を通じて、がん患者やその家族等の療養生活の質の向上が図られるよう、療養上必要な情報をまとめた患者・家族向けのサポートブックを増刷・配布するほか、県ホームページの内容の一層の充実を図る。

## ○ がん患者・家族会への支援

がん患者の悩みや不安の軽減に資するよう、がん患者・家族会の活動を引き続き支援。学習会・情報交換会の開催や県ホームページでの活動紹介に加え、県の施策・事業へよりの的確に意見を反映するよう患者・家族会の代表者による連絡会を開催

## ○ がん診療連携拠点病院機能強化事業への支援【再掲】

がん患者やその家族の不安や疑問に適切に対応するため、拠点病院が行う相談支援センター相談員の配置や育成、がんサロンの運営、普及啓発・情報提供事業の実施などに対する支援を行う。

## ○ 普及啓発

保健医療従事者、患者団体、報道機関等と連携した県民向けの普及啓発イベントを引き続き実施する。

## ○ がん教育

- ・ がん・生活習慣病を含む健康教育の実施を一層推進するため、岩手県対がん協会による学校への出前講座の実施に対して支援を行う。
- ・ 県教育委員会において、高校生対象のがん教育講演会における講師派遣事業（11校予定）
- ・ 教員対象の研修会（学校保健推進者、高校体育ほか）
- ・ 啓発教材等の活用普及
- ・ 小学生向けのがんに関する啓発リーフレットを小学生6学年の児童全員へ配布

### 【各団体等の取組】

- [岩手医科大学] がん患者・家族と医療者の対話、相談支援・情報提供
  - ・ がん患者・家族サロンでよろず相談やイベントの開催やがん患者・家族が気軽に医療者と話ができる場として「対話カフェ」を開催
  - ・ 「がん患者・家族サロンだより」による情報提供
  - ・ がん患者等を支援するボランティア育成のための研修会開催
  - ・ 情報提供・相談支援研修会開催・ 前年度と同様に取組を継続
- [県立中央病院] 患者・家族支援
  - ・ 前年度と同様に取組を継続
  - ・ 患者・家族のボランティア活動「なでしこサロン」の開催日を増やし、更なる充実を目指す
- [県立中部病院] 相談支援・情報提供の充実
  - ・ 前年度と同様に取組を継続
- [岩手ホスピスの会] 患者・家族のサポート等
  - ・ タオル帽子活動、セミナー等の開催、がん相談ホットラインの実施など、がん患者・家族のサポートやホスピスの啓発活動等を引き続き実施
- [盛岡かたくりの会] 学習会の開催
  - ・ リンパ浮腫サロンの開催（盛岡市において学習会を開催予定）
- [アイリスの会] 患者・家族のサポート等
  - ・ ミニ茶話会の開催、コットン帽子を作成し医大サロンを通じて配付、
  - ・ 専門医からの情報提供とし講演会の開催  
(6月18日 講師：岩手医科大学乳腺外科 小松英明先生)
  - ・ 岩手医大がんサロンにてボランティア活動

## 5 がん登録の推進

- がん登録等の推進に関する法律の施行に伴い、実施登録制度の周知及び円滑な登録を支援
- これまでの地域がん登録事業により得られたデータの積極的な利活用の実施

- がん登録等の推進に関する法律が平成28年1月1日に施行されたことに伴い、病院及び診療所等に対して登録制度の周知を図るとともに、県医師会等関係機関と連携し、円滑な登録を支援
- これまでの地域がん登録事業により得られた貴重なデータについて、県民に対する普及啓発等において積極的な利活用を実施（「検診群」と「外来群」の5年生存率の比較データなどを用いた、県民に対する受診勧奨など）

### 【各団体の取組】

- [岩手医科大学] がん登録研修会開催
- [岩手県医師会] がん登録
  - ・ がん登録の推進について昨年度同様取組を進めていく
  - ・ 全国がん登録について、今年度よりオンライン提出となり整備に向けて準備中

## 6 働く世代や小児へのがん対策の充実

- 働く世代や女性のがん対策として、がん検診受診率向上に向けた普及啓発活動を実施
- がん患者の就労支援については、企業の労務担当者向けセミナーの実施のほか、県がん診療連携協議会と連携し拠点病院における取組を推進
- 小児がんについては、実態把握・情報収集に引き続き取り組む

### ○ 働く世代のがん対策【再掲】

- ・ 協会けんぽ岩手支部や「がん検診受診率向上プロジェクト協定」締結企業と連携し、働く世代への普及啓発活動を実施
- ・ いわてピンクリボンの会と連携したピンクリボン運動月間の普及啓発を実施

### ○ がん患者の就労支援

- ・ がんになっても就労を継続できるよう企業サイドへの意識啓発を行うため、企業の労務担当者を対象とするセミナーを引き続き開催
- ・ 岩手県がん診療連携協議会と連携しながら、各拠点病院におけるがん患者の就労に係る相談・支援の取組を強化。

### ○ 小児がん

- ・ 小児がんの医療や患者支援に係る実態把握や情報収集を引き続き進めるとともに、国が策定する第3期がん対策基本計画の内容を踏まえながら、小児がん拠点病院と県内の拠点病院との広域連携の強化などに向けて取り組む。

### 【各団体等の取組】

#### ○ [全国健康保険協会岩手県支部] 治療と職業の両立支援

- ・ 健康づくりセミナーにおける、がんを含めた治療と職業生活の両立支援のためのガイドラインのポイント（仮）をテーマとした講演の実施

#### ○ [ハローワーク盛岡] 就労支援

- ・ 医大病院へ出張相談リーフレット、事業所向け求人時の「治療と仕事の両立」への依頼リーフレットを有効活用しながら、引き続き医大病院との連携強化